

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※ 受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-135	高等学校	芸術科	書道Ⅱ	
※ 発行者の番号・略称	※ 教科書の記号・番号		※ 教科書名	
2 東書	書Ⅱ 002-901		書道Ⅱ	

1. 編修の基本方針

「書之美を創る」

本教科書は、生徒が「書道Ⅰ」で学習した表現と鑑賞の基礎的な力を生かし、意図に基づいて自分の表現を工夫したり、伝統と文化への関心をもって書之美を味わったりしながら、書を愛する心情を育むことを目指して編修しました。

1 多様な書之美しさに触れ、表現と鑑賞の力を高める

生徒が、書作品の多彩な味わいやおもしろさに気づき、興味関心をもって、書表現したり鑑賞したりできるよう、学習内容及び教材を精選しました。



p.26 - 27 「隸書之美」

- 篆書、隸書、草書の学習導入として、「篆書之美」「隸書之美」「草書之美」を設けました。同じ書体でありながら、書風や用材、書かれた年代の異なるさまざまな書作品を一覧することができます。

- 書体の概要を押さえたうえで、個々の古典作品の学習に取り組むことができます。

図版は高精細で、可能な限り原寸大で掲載しています。

生徒が根拠をもって、その古典の「表現の特徴」を捉えられるよう、具体的かつ簡潔に説明しています。



p.28 - 29 「礼器碑」

各分野の末尾にある鑑賞教材は、生徒が多様な書作品に触れ、感じたことを自分の言葉を用いて説明し合う場として設定しました。書の感性と語彙力をともに高め、また、鑑賞する楽しさを生徒どうして共有できるように配慮しています。

※巻末の「鑑賞の言葉を広げよう」では、鑑賞の観点や表現するための多くの語彙を参照することができます。
 (参照：「編修趣意書（学習指導要領との対照表、配当授業時数表）」p.2)

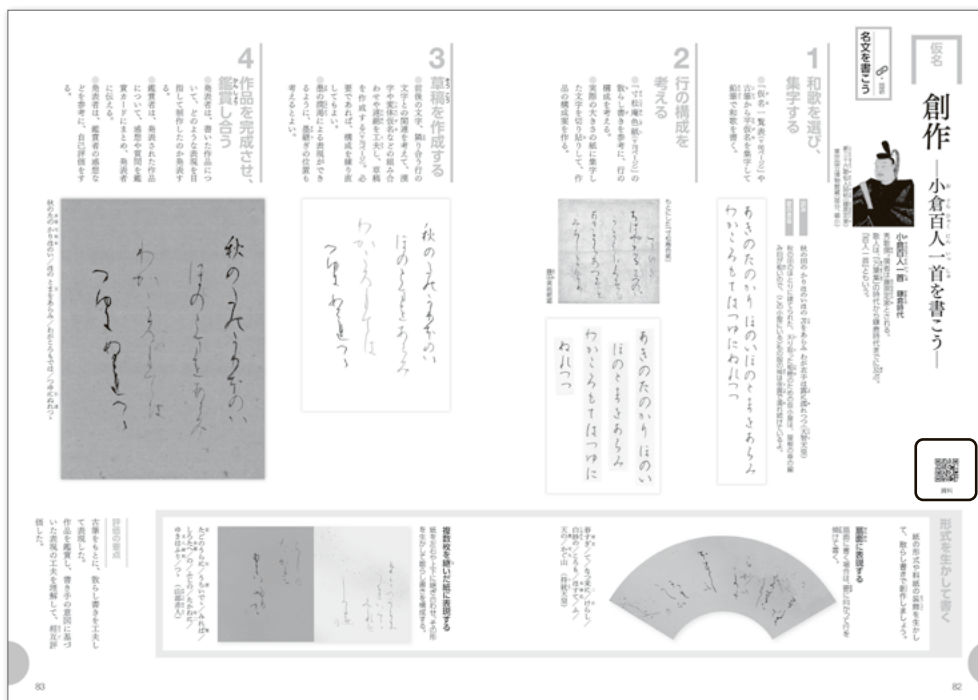


p.60 - 61「鑑賞—書の美や風趣を味わおう—」

2 書への感性を高め、創造的に表現する

創作教材は、生徒がそれまでに学んだ内容を踏まえて、意図をもって書表現を試みる場として設定しました。生徒が自立的に活動を進められるよう、紙面には手順と例示を手厚く示しました。

二次元コードからも、創作作品の作品例を参照することができます。



p.82 - 83「創作—小倉百人一首を書こう—」

二次元コード



「漢字仮名交じりの書」では、生徒が自分の目指す表現のために、どんな古典作品を手がかりにするとよいか、書体・書風や用具・用材をどのように工夫するとよいか、例を豊富に掲載しました。



p.88 - 89 「古典を生かした表現」

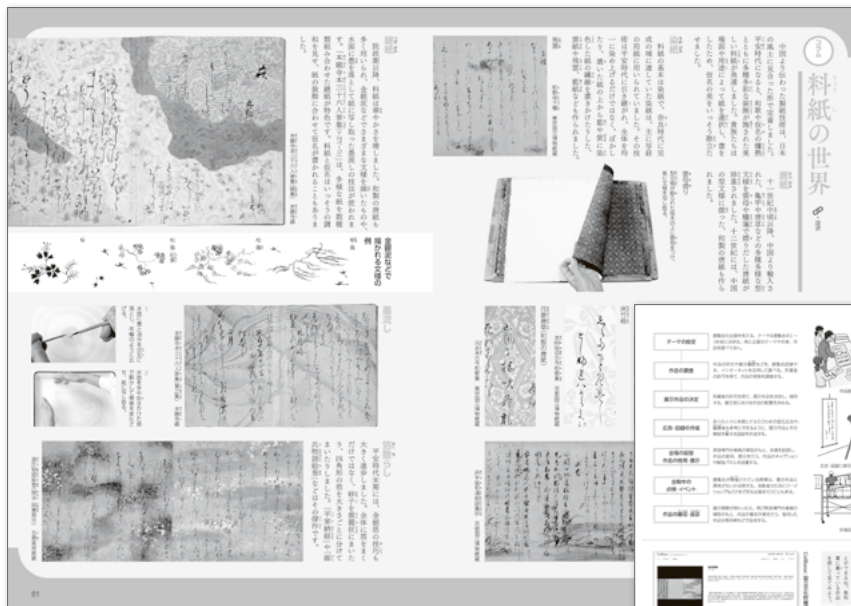


p.96 - 97 「自分の意図に応じた表現」

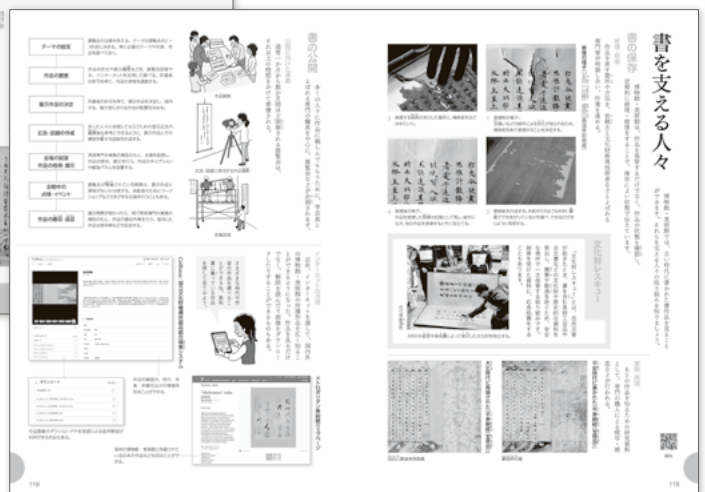
3 書の伝統と文化に親しみ、書を愛好する心情を育む

コラムでは、さまざまな書写材料や著名な人物の書に関するエピソードなど、生徒の知的好奇心に応え、書文化への理解を深める題材を幅広く取り上げました。

巻末資料には、生徒の自主的な探究・活動を後押しする資料類をまとめて配置しました。



p.80 - 81 「料紙の世界」



p.118 - 119 「書を支える人々」

コラム一覧

- 「青銅器の種類と役割」 p.16-17
- 「書写材料の変遷 -木簡から紙へ-」 p.34-35
- 「芸術の書へ -形式の変化とともに-」 p.44-45
- 「座右の銘 -自らの思いを書に託して-」 p.62
- 「伝称筆者」 p.73
- 「料紙の世界」 p.80-81
- 「紫式部と書」 p.86
- 「手紙 -思いを伝える-」 p.106-107

資料一覧

- 「書の表現と歴史」 p.108-112
- 「書道史略年表」 p.113-117
- 「書を支える人々」 p.118-119
- 「鑑賞の言葉を広げよう」 p.120-121

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
三分野*1 共通 *1 漢字の書 仮名の書 漢字仮名交じりの書	<ul style="list-style-type: none"> 扉には、豊かな情操を培いつつ、幅広い知識と教養を身に付けられるよう、その分野の名品を大きく示し、その迫力や美を楽しめるよう配慮しました。(第1号) 「漢字の書」「仮名の書」の臨書を中心とした基本教材においては、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うために、さまざまな古典作品を教材とし、また、書風、表現の特徴、歴史的背景などさまざまな視点からの解説を掲載しました。(第1号) 創作の活動においては、創作過程を明確にし、見通しをもって学習を進められる構成とし、自主・自律の精神を培うことができるよう配慮しました。また、題材を決める活動の指示と例示を手厚くし、自身の創造性を発揮する主体的な学習態度を養えるよう配慮しました。(第2号) 鑑賞の活動においては、書を見て感じたことや考えたことを伝え合う言語活動を取り入れて、自己と他者を尊重し、協働的な学びができるよう工夫しました。(第3号) 漢字の五書体の特徴や、篆書・隸書・草書の成立と種類、仮名の成立や和歌集の書写形式の変遷などを示すことで、日本と中国が育んできた文字を通して、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養えるよう配慮しました。(第5号) 	<p>p.5, p.63, p.87</p> <p>p.10-12, p.28-29, p.70-72 他</p> <p>p.58-59, p.82-83, p.100-101</p> <p>p.24, p.60-61, p.84-85, p.102-103</p> <p>p.6-7, p.8-9, p.64-65 他</p>
漢字の書	<ul style="list-style-type: none"> 掲載した古典作品について、釈文・書き下し文・大意を示し、作品の概要や書かれた時代などを紹介することで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう配慮しました。(第1号) 篆書が鑄込まれた青銅器の種類や竹簡・木簡から紙への書写材料の変遷、掛け軸や扇面、長条幅などを示すことで、日本と中国の書文化の変遷に触れ、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養えるよう配慮しました。(第5号) 	<p>p.10-12 他</p> <p>p.16-17 他</p>
仮名の書	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな古今和歌集の写本や「源氏物語」における書に関する記述を紹介することで、我が国の文学作品との関連を意識し、豊かな情操と広い知識、教養を身に付けられるよう工夫しました。(第1号、第5号) 教材となる古筆には、書かれている意味を付し、古来日本人が花鳥風月などの自然に自分の心情を寄せていたことに気づき、豊かな情操と自然を大切にすることを養えるよう配慮しました。(第4号) 古筆の伝承筆者についての解説や、仮名の美を際立たせる料紙の種類や技法を掲載することで、我が国の伝統と文化を愛し尊重する態度を養えるよう工夫しました。(第1号、第5号) 	<p>p.64-65, p.86</p> <p>p.70-72 他</p> <p>p.73, p.80-81 他</p>
漢字仮名交じりの書	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が創造性を培い、「漢字の書」「仮名の書」で学習した古典作品の表現や臨書により身に付けた技能を生かして、自らの意図に基づいた表現をできるようにするため、作品例や表現の工夫の例を多く示すなど配慮しました。(第2号) 「生活に広げる」では、書の特徴を生かしたポスターを複数掲載し、ウェブページや横断幕などのさまざまな書の活用例を示すことで、書を通して社会に参画することの意義を考えられるよう配慮しました。(第3号) 学習材の文字例に自然に関する文言を取り上げることで、生命を尊重し、環境保全に寄与する態度を養えるよう配慮しました。(第4号) 	<p>p.88-93 他</p> <p>p.104-105</p> <p>p.94-97 他</p>
篆刻・刻字	<ul style="list-style-type: none"> 印や篆刻に関する幅広い知識や教養を身に付けられるように、さまざまな種類の印を掲載し、印の用法や様式の変化などの解説を掲載しました。(第1号) 創作の活動においては、創作過程を明確にし、見通しをもって学習を進められる構成とすることで、自主・自律の精神と主体的な学習態度を養えるよう配慮しました。(第2号) 鑑賞の活動においては、感じたことや考えたことを伝え合う言語活動を取り入れて、自己と他者を尊重し、協働的な学びができるよう工夫しました。(第3号) 日本と中国における印の変遷について知ることで、文字を通して、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養えるよう配慮しました。(第5号) 	<p>p.18-19</p> <p>p.20-23, p.25</p> <p>p.24</p> <p>p.18-19</p>


<p>口絵 書道史地図 資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 書の表現と歴史 ● 書道史略年表 ● 書を支える人々 ● 鑑賞の言葉を広げよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・口絵「書的美を創る」では、仮名の美を代表する古典作品を見開き紙面で大きく掲載し、書的美について紹介する文章を掲載することで、書を表現・鑑賞する活動への意欲を喚起し、真理を求める態度を養えるよう工夫しました。(第1号) ・「書の表現と歴史」では、漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書それぞれの、書の歴史を概観し、それらの表現の特徴と変遷について理解し、書全般に対する幅広い知識や教養を身に付けられるよう配慮しました。(第1号) ・「書を支える人々」では、美術館・博物館における書の保存や公開などの取り組みを紹介し、美術館・博物館の活用を促すことで、社会の一員としてその形成に参画し発展に寄与する態度を養えるよう配慮しました。(第3号) ・「書道史地図」と「書道史略年表」を示すことで、我が国と他国の伝統と文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮しました。(第5号) 	<p>表紙裏 -p.1</p> <p>p.108-112</p> <p>p.118-119</p> <p>p.2-3, p.113-117</p>
--	--	---

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

① 教育のICT化への取り組み

- ・各教材の紙面上の二次元コードやURLからアクセスすることで、インターネットを介して漢字や仮名の運筆動画や練習用紙、関連資料などをタブレット端末やノートパソコンなどで見ることができます。生徒がいつでも視聴でき、授業の理解を助けます。また、家庭学習や個別学習も効果的に進められます。
- ・教科書の目次には、資料「書道用語200」の二次元コードを掲載し、「書道I」に掲載している「書道用語200」を参照できるようにしています。「書道史略年表」の二次元コードからは「中国書道史 人物・作品解説」「日本書道史 人物・作品解説」などの資料を参照できます。生徒が、書道用語や教科書に掲載されている人物や作品について詳しく知りたいとき、タブレット端末やノートパソコンなどから簡単に検索できるようにしました。

② 他教科の学習との関連

- ・国語（古文や漢文）や日本史、世界史など他教科の学習と関連する教材には、教科関連マーク  を付けて意識化を図り、関連づけた学習ができるように配慮しました。(p.8-9、p.16-17、p.64-65、p.73他)

③ ユニバーサルデザインを取り入れた紙面

- ・カラーユニバーサルデザインの観点から、配色およびデザインについて専門家による検証を行っています。色覚の多様性に配慮し、紙面内の情報を識別できるよう工夫しました。
- ・情報のまとまりが分かりやすくなるようレイアウトや色使いを工夫し、生徒の集中を妨げないよう配慮しています。
- ・常用漢字、中学校・高校配当の漢字の読み、生徒になじみの薄い書道用語には振り仮名を付け、学習の補助となるよう配慮しています。
- ・本文の振り仮名には、ユニバーサルデザイン書体を採用し、視認性を高めています。
- ・落ち着いた学習が進められるよう、教科書1冊で授業を進められるシンプルな冊子構成にしました。

④ 環境に配慮した印刷・造本

- ・印刷には植物油インキを使用しています。
- ・印刷業界団体が定めた環境配慮基準を満たす「グリーンプリンティング認定工場」で印刷しています。
- ・ページの開きがよく、かつ耐久性が非常に高いPUR製本を採用しました。教科書を開いて二つ折りにしても壊れることはありません。また、リサイクル性にも優れています。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

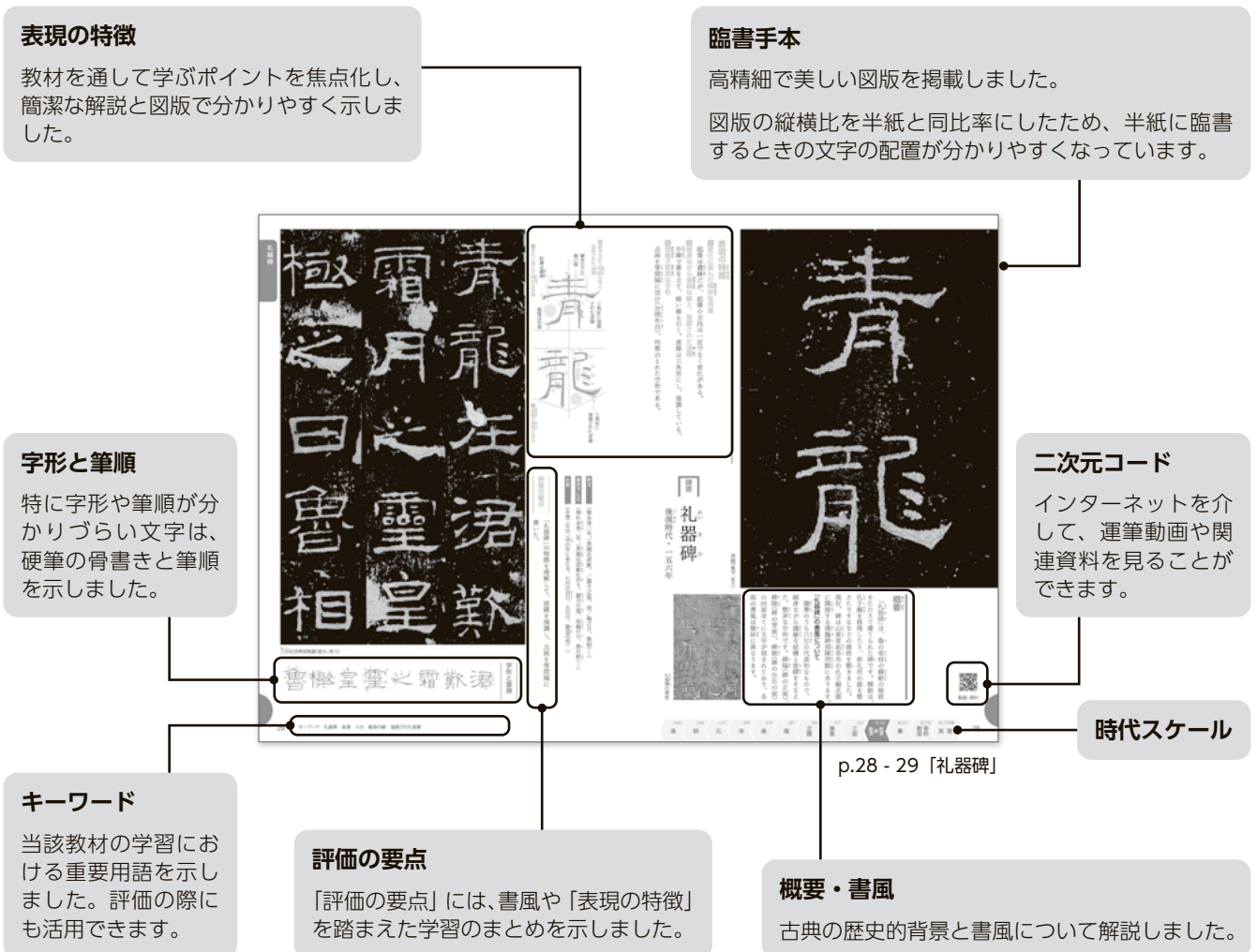
※ 受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-135	高等学校	芸術科	書道Ⅱ	
※ 発行者の番号・略称	※ 教科書の記号・番号	※ 教科書名		
2 東書	書Ⅱ 002-901	書道Ⅱ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 生徒が主体的に学びやすい紙面構成

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、生徒が活動に取り組んだり、学びを深めたりするための情報を不足なく掲載しています。

- 古典の臨書教材では、「表現の特徴」を設けて、作品の書風や用筆などの特徴を言語化し、文字図版と併せて具体的に解説しました。生徒の理解を深め、創作や鑑賞の際にも活用しやすいよう配慮しました。



- 巻頭には「書道史地図」、巻末には「書の表現と歴史」「書道史略年表」などを掲載し、書にゆかりのある地域や人物、書かれた年代や時代背景などについて、生徒が主体的に調べられるようにしました。

3

精撰された教材・図版群

多様な古典作品に触れられるよう配慮しました。図版は、高精細かつ可能な限り原寸大で掲載しています。

		教材	その他の図版
漢字の書	篆書	「石鼓文」 <small>原寸</small> 、「臨石鼓文」(呉昌碩)、「甲骨文」、「大盂鼎」 <small>原寸</small>	「司母戊方鼎」、「王孫遣者鐘」、「齊刀錢」、「楚帛書」、「泰山刻石」、「瓦当文」、「博文」、「篆書庾信讀四屏」
	隸書	「礼器碑」 <small>原寸</small> 、「張遷碑」、「開通褒斜道刻石」、「漢簡」 <small>原寸</small>	「長沙馬王堆帛書」、「萊子侯刻石」、「武威磨咀子漢簡」、「敦煌漢簡」、「石門頌」、「乙瑛碑」、「漆書格言軸」(金農)、「隸書寬裳逸史四屏」(楊岷)
	草書	「書譜」 <small>原寸</small> 、「十七帖」 <small>原寸</small> 、「臨二王諸帖軸」(王鐸)、「自叙帖」、「国申文帖」	「居延漢簡」、「平復帖」、「喪乱帖」、「中秋帖」、「臨大令帖軸」(王鐸)
	行書	「集王聖教序」 <small>原寸</small> 、「温泉銘」 <small>原寸</small> 、「祭姪文稿」 <small>原寸</small> 、「蜀素帖」 <small>原寸</small> 、「伊都内親王願文」 <small>原寸</small>	
	楷書	「張猛龍碑」 <small>原寸</small> 、「始平公造像記」 <small>原寸</small> 、「孟法師碑」 <small>原寸</small> 、「薦季直表」 <small>原寸</small> 、「樂毅論」(光明皇后) <small>原寸</small>	
仮名の書		「高野切第一種」 <small>原寸</small> 、「本願寺本三十六人家集(石山切伊勢集)」 <small>原寸</small> 、「針切」 <small>原寸</small> 、「曼殊院本古今和歌集」、「寸松庵色紙」 <small>原寸</small>	「本願寺本三十六人家集(石山切貫之集)」、「関戸本古今和歌集」、「亀山切」、「本阿弥切古今和歌集」、「元永本古今和歌集」、「卷子本古今和歌集」

4

学習を補助する豊富な資料

●教材の学習に関連して、より詳しく紹介したい事柄や具体的な例などを、**ミニコラム**としてまとめました。

ミニコラムの内容

- 【漢字】……………「甲骨文の発見」「西域探検と肉筆文字の発見」「文字を学ぶ」「書譜と節筆」「王鐸と王羲之」
「作品集(和綴じ本)を作る」
- 【篆刻・刻字】……………「金印の発見」「篆書の種類一「馬」を例に一」「生活の中の印」
- 【仮名】……………「調度手本」「形式を生かして書く」
- 【漢字仮名交じり】……………「著作権について」「表現の工夫」

●紙面上に**二次元コード**のある教材では、インターネットに接続して**運筆動画**や**創作参考作品**、**思考ツール**などを見ることができます。生徒の興味関心に応じて学習を広げられるように工夫しています。



p.28 「礼器碑」

二次元コード



運筆動画



資料類



2. 対照表

㊦…インターネットを介して、動画を見たり、資料を確かめたりできる教材。

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
書の美を創る ㊦ 花卉蝶摺下絵新古今集和歌巻 書道史地図（書道用語 200 ㊦） 書の広がり		B (1) ア (ア) (イ)、イ (イ) (ウ) (エ)	表紙裏 -p.4	
漢字の書	漢字の書体とその特徴	B (1) イ (ア) (イ) (ウ)	p.6-7	
	篆書の美 ㊦ 「石鼓文」㊦ 「甲骨文」㊦ 「大孟鼎」㊦ ㊦コラム 青銅器の種類と役割	A (2) ア (ア)、イ (ア) (イ)、ウ (ア) (イ) B (1) ア (ア)、イ (ア) (イ) (ウ) (エ) 共通事項 (1) ア、イ	p.8-17	
	篆刻・刻字 印の歴史と用法 創作 — 落款印を刻そう — ㊦ 鑑賞 — 篆刻の美や風趣を味わおう — ㊦ 創作 — 表札を彫ろう —	A (2) ア (ア) (イ)、イ (ア) (イ)、ウ (ア) (イ) B (1) ア (ア)、イ (ア) (イ) (ウ) (エ) 共通事項 (1) ア、イ	p.18-25	
	隷書の美 ㊦ 「礼器碑」㊦ 「張遷碑」㊦ 「開通褒斜道刻石」㊦ 「漢簡」㊦ ㊦コラム 書写材料の変遷 — 木簡から紙へ —	A (2) ア (ア)、イ (ア) (イ)、ウ (ア) (イ) B (1) ア (ア)、イ (ア) (イ) (ウ) (エ) 共通事項 (1) ア、イ	p.26-35	
	草書の美 ㊦ 「書譜」㊦ 「十七帖」㊦ 「自叙帖」㊦ 「国申文帖」㊦ ㊦コラム 芸術の書へ — 形式の変化とともに —	A (2) ア (ア)、イ (ア) (イ)、ウ (ア) (イ) B (1) ア (ア)、イ (ア) (イ) (ウ) (エ) 共通事項 (1) ア、イ	p.36-45	
	行書 「集王聖教序」㊦ 「温泉銘」㊦ 「祭姪文稿」㊦ 「蜀素帖」㊦ 「伊都内親王願文」㊦	A (2) ア (ア)、イ (ア) (イ)、ウ (ア) (イ) B (1) ア (ア)、イ (ア) (イ) (ウ) (エ) 共通事項 (1) ア、イ	p.46-51	

漢字の書	「張猛龍碑」◎ 「始平公造像記」◎ 楷書 「孟法師碑」◎ 「薦季直表」◎ 「樂毅論」◎	A (2) ア(ア)、イ(ア)(イ)、ウ(ア)(イ) B (1) ア(ア)、イ(ア)(イ)(ウ)(エ) 共通事項 (1) ア、イ	p.52-57	
	創作 ―漢詩を書こう―◎ 鑑賞 ―書的美や風趣を味わおう―◎ (コラム) 座右の銘 ―自らの思いを書に託して―	A (2) ア(ア)(イ)、イ(ア)(イ)、ウ(ア)(イ) B (1) ア(ア)(イ)、イ(ア)(イ)(エ) 共通事項 (1) ア、イ	p.58-62	
仮名の書	仮名の美 ―古今和歌集と仮名―◎	B (1) イ(イ)(ウ)(エ)	p.64-65	
	仮名一覧表 ―平仮名・変体仮名―◎ 連綿◎	A (3) ア(ア)、イ(ア)(イ) B (1) ア(ア)、イ(ア)(ウ) 共通事項 (1) ア	p.66-69	
	「高野切第一種」◎ (コラム) 伝称筆者 「本願寺本三十六人家集」◎ 「針切」◎	A (3) ア(ア)、イ(ア)(イ)、ウ(ア)(イ) B (1) ア(ア)、イ(ア)(イ)(ウ)(エ) 共通事項 (1) ア、イ	p.70-75	
	行書きの美 ―曼殊院本古今和歌集―◎ 散らし書きの美 ―寸松庵色紙―◎ (コラム) 料紙の世界	A (3) ア(ア)(イ)、イ(ア)(イ)、ウ(ア)(イ) B (1) ア(ア)、イ(ア)(イ)(ウ)(エ) 共通事項 (1) ア、イ	p.76-81	
	創作 ―小倉百人一首を書こう―◎ 鑑賞 ―書的美や風趣を味わおう―◎ (コラム) 紫式部と書	A (3) ア(ア)(イ)、イ(ア)(イ)、ウ(ア)(イ) B (1) ア(ア)、イ(ア)(イ)(エ) 共通事項 (1) ア、イ	p.82-86	
漢字仮名交じりの書	古典を生かした表現 自分の意図に応じた表現◎ 言葉と書の調和	A (1) ア(ア)(イ)(ウ)、イ(ア)(イ)、 ウ(ア)(イ) B (1) ア(ア)(イ)、イ(ア)(イ)(ウ) 共通事項 (1) ア、イ	p.88-99	
	創作 ―心に響いた言葉を書こう―◎ 鑑賞 ―書的美や風趣を味わおう―◎	A (1) ア(ア)(イ)(ウ)、イ(ア)(イ)、 ウ(ア)(イ) B (1) ア(ア)(イ)、イ(ア)(イ)(ウ)(エ) 共通事項 (1) ア、イ	p.100-103	
	生活に広げる (コラム) 手紙 ―思いを伝える―	A (1) ア(ア)(イ)(ウ)、イ(ア)(イ)、 ウ(ア)(イ) B (1) ア(ア)(イ)、イ(ア)(イ)(エ) 共通事項 (1) ア、イ	p.104-107	
資料	書の表現と歴史 書道史略年表◎ 書を支える人々◎ 鑑賞の言葉を広げよう	B (1) イ(イ)(ウ)(エ)	p.108-121	